

グラフ

No. 584 GRAPH FUKUOKA

ふくおか

2016
AUTUMN

秋

福岡海街紀行

巧みの海 筑前海

特集

福岡のローカル
鉄道で行こう。





- 03 特集
福岡のローカル鉄道で行こう。
- 08 知事のふるさと訪問
大木町・大川市
桂川町
- 12 福岡海街紀行
巧みの海 筑前海
- 16 きらめきマイタウン
築上町
- 22 人づくりは未来づくり
大自然の中で、人間力を学べ！
- 24 女性農業者の思いと
企業のノウハウで
新しいモノづくりを。
女性農業者活躍推進事業「アグレディ」
- 26 県政フラッシュ
- 27 情報広場
- 28 県議会だより

表紙
紹介



筑前海鐘崎の素潜り漁

豊かな海が育む、“幸”を求めて

県の北西部に位置し、筑前海に面する宗像市鐘崎。鐘崎の素潜り漁は海水の温度が温み始める春先から始まります。夏まではワカメなどの海藻類を主体にウニを、盛夏はアワビとサザエを捕ります。素潜り漁師は現在海女2人、男性の海士が16人。水産資源の保護のため、漁の時間を決めて、海の様子を見ながら休漁を申し合わせることもあり、古くから鐘崎近海は、素潜り漁が盛んに行われており、豊かな海の恵みとともに人々の暮らしが営まれてきました。

■ 関連記事12ページへ

福岡のローカル 鉄道で行こう。



国登録有形文化財(建造物)である内田三連橋梁を走る車両(平成筑豊鉄道)

ノスタルジックな駅舎や
どこか愛らしい車両。
車窓を流れる四季折々の景色や
地元の人とのふれあい、
ローカル鉄道に乗ると、
心温まる瞬間に
何度も出会えます。



EVENT INFO

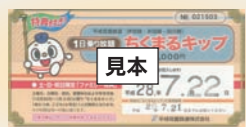
大人気！大興奮！運転体験



年に2回の大人気企画。運転士の指導のもとで金田駅構内の専用線路150メートルを往復する。費用は2時間2000円から10人以上の団体なら誰でも応募可能

1日乗り放題！ちくまるキップ

平成筑豊鉄道の3路線が1日乗り放題で楽しめるフリー乗車券。料金は大人1000円・子ども500円。さらに「源じいの森温泉」の受付で提示すると入湯料が無料に



※詳しくは平成筑豊鉄道にお問い合わせください



5子どもたちもワクワクする鉄道でのお出かけ
6通学に利用する高校生
7営業企画課・今村良平さん



平成筑豊鉄道

愛称『へいちく』

1 1895年に建設された現存する九州最古の鉄道トンネル「石坂トンネル(第2隧道)」に入る電車
2 皆の想いをのせて運転する運転士
3 どこかノスタルジックな雰囲気漂う田川伊田駅のホーム
4 つり革オーナーになれるのはわずか95人!



名称通り元号が「昭和」から「平成」に変わった1989年に、筑豊エリアを走る伊田線・糸田線・田川線を県と周辺自治体がJR九州から譲り受け、運営を開始させた第三セクター鉄道。沿線にはかつて日本最大規模の炭田として栄えた筑豊炭田ゆかりの名所が点在。

〒田川郡福智町金田1145-2 ☎0947-22-1000 ファクス0947-22-0910

おすすめルート



田川市石炭・歴史博物館
ユネスコ「世界の記憶」に登録された「山本作兵衛コレクション」をはじめ、炭鉱の歴史や文化にまつわる約2万点を収蔵〈田川伊田駅下車 徒歩10分〉
©Yamamoto Family

油須原駅
沿線最古の駅舎。『東京タワー〜オカンとボクと、時々、オトン〜』など、人気ドラマのロケにも使われている



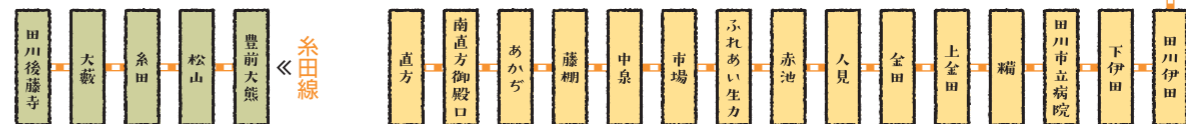
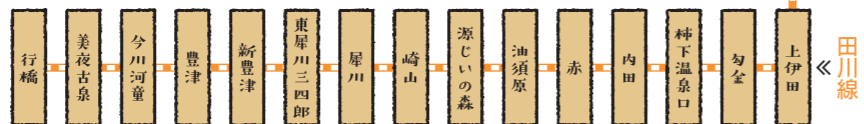
老若男女問わず大人気の「ちくまるグッズ」。金田駅窓口のほか、郵送でも販売している

「通勤や通学、お買い物など、日頃利用してくださる地元の方々と顔なじみになったり、成長を見守ったりできるのはローカル線ならではの魅力。『へいちく』は、炭都・田川とは切っても切れない。地域の歴史からグルメまで、『へいちく』を通して多くの方に知ってもらえるよう、これからも、私たちにしかできないことを、責任と愛着をもって実現していければと思います」と、熱い想いを語ってくださいました。

炭都の未来を乗せて元気にひた走る

県内を走るローカル鉄道の一つ、平成筑豊鉄道。沿線には経済産業省の近代化産業遺産に認定された旧三井田川鉱業所伊田堅坑(ごう)や二本煙突のほか、開業当初の姿を残す油須原駅、九州最古の鉄道トンネルである石坂トンネル(第2隧道)など、見どころがめじろ押しです。また、本物の列車を使った運転体験はキャンセル待ちがでるほどの人気。その他にも車内のつり革にメッセージと名前が刻めるつり革オーナー制度などユニークな取り組みにも積極的です。平成筑豊鉄道の施設の清掃などをボランティアで行う平成筑豊鉄道を元気にする会のメンバーで、平成筑豊鉄道OBでもある前田忠さんは、「地元の大切な“足”を守るためにも、地域内外を問わず多くの方にご乗車いただくよう努めることが大切」と話します。「通勤や通学、お買い物など、日頃利用してくださる地元の方々と顔なじみになったり、成長を見守ったりできるのはローカル線ならではの魅力。『へいちく』は、炭都・田川とは切っても切れない。地域の歴史からグルメまで、『へいちく』を通して多くの方に知ってもらえるよう、これからも、私たちにしかできないことを、責任と愛着をもって実現していければと思います」と、熱い想いを語ってくださいました。

『へいちく』キャラクターちくまる



わか なみ
若波酒造合名会社



1922(大正11)年創業の若波酒造を見学。平成24年には、福岡県酒類鑑評会大吟醸の部において、最高位の福岡県知事賞を受賞。限定流通品の「若波」は首都圏にも出荷している



酒蔵を回り、製造工程の説明を受ける知事

こ が 政 男
古賀政男記念館



大川が生んだ昭和の国民的作曲家である古賀政男。作曲した約5000曲は、「東京ラプソディー」「丘を越えて」をはじめ、名曲ばかり

古賀政男生家は「湊屋」六代目の志岐浩美さんの指導で大川組子の製作を体験。0.1mmでもずれれば組めなくなる繊細な技術に知事も感嘆



山田永喜館長による弾き語りのおもてなし。美しく哀愁のある旋律が館内に響く



子育て支援センター「にここ広場」

子育て支援ボランティアサークル「ねんねこくらぶ」の皆さんと懇談。「にここ広場」は、育児相談や育児イベント、親子同士の交流の場として利用されている



おおき循環センター「くるるん」

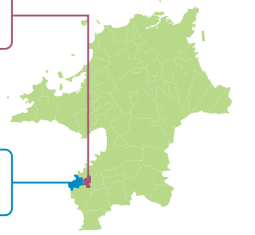
循環型社会を目指す大木町の環境拠点施設。バイオマスプラントによる生ごみの発電用エネルギー資源としての利活用や有機肥料として農地還元などを行っている



婦人会やシルバー人材センターの皆さんが作ったリサイクル品

大木町

大川市



平成28年6月29日

小川知事が県内各地に出向き、県民の皆さんと直接触れ合う「知事のふるさと訪問」。環境に優しいまちづくりを進める大木町と日本有数の家具の産地、大川市を訪れました。

道の駅 おおき



大木町の女性農家の皆さんと懇談



季節ごとに種類が変わるデザートプレート



大木町の特産品であるきのこのもぎとりを体験。肉厚で食感豊かなエノキタケとシメジは特に有名



会場となった若波酒造の「利き酒処」は、酒蔵の一部を活用し、酒造りの道具をインテリアとした隠れ家のような空間



「たくさんの女性が活躍している福岡県。女性の皆さんの感性、発想、アイデアが生かされることが県の発展につながります」と知事



「立野木材工芸株式会社」の家具デザイナーで代表取締役社長の立野治美さん。新ブランドの立ち上げや、使う人にやさしい家具づくりに取り組む」と知事



料亭旅館「三川屋」女将の大和寿子さん。大川組子を用いた「組子膳」をはじめ、エツやウナギの会席など、大川の良さが光るサービスを提供



「若波酒造合名会社」八代目社長氏兼製造統括の今村友香さん。九州初の清酒女性社氏。日本酒を気軽に楽しむきっかけと、あまおうリキュールを開発



「あ〜すくらぶ」代表であり、ふくおか環境マスターの荒木フサエさん。3Rの達人として講習会を行い、エコや環境に対する意識向上につなげている



「大木町認定農業者協議会」副会長、「愛情いちご池上農園」の池上祥子さん。あまおうを育てる傍ら女性農業者向けの研修会にも取り組んでいる



「道の駅 おおき」駅長の松藤富士子さん。バナシメジやアスパラの生産販売や地産地消レストランの運営など農業を通じた幅広い活動に取り組む

地域で
頑張る皆さん

対 話

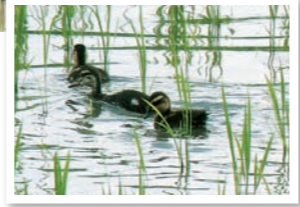
小川知事

合鴨家族 古野農場



除草や防虫、肥料散布もアイガモの仕事。アイガモ農法は、「無農薬は手間がかかる」という農業の常識を覆した

アイガモ農法で全国的にも有名な古野農場。古野隆雄さんから、完全無農薬の有機農業について説明を受けた

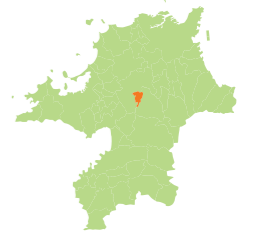


王塚古墳・王塚装飾古墳館

国の特別史跡「王塚古墳」を視察。色彩豊かな装飾壁画と精巧な内部施設を有する超一級の装飾古墳で、石室は毎年春と秋に特別公開されている
※次回の公開は、10月15日(土)、16日(日)



小川知事は、日本有数の古代遺産を有し、その歴史や伝統文化を大切に守り継いでいる桂川町を訪問しました。



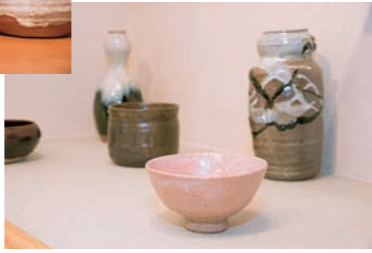
桂川町

平成28年8月2日

土師焼 八児窯元



敷地内の展示場には、茶碗、水指などの茶陶を中心に、花入、向付といった素朴で優美な作品が並ぶ



陶芸家の八児紫石さんから、土師焼について説明を受けた後、「割竹型連房式登り窯」を見学。九州特有の型であるこの窯は、焼成室が分断されているのが特徴



古墳に隣接する王塚装飾古墳館では、出土した展示品のほか、実物大の石室内部のレプリカを見学できる

桂川町グラウンド・ゴルフ場



知事もグラウンド・ゴルフに挑戦。バンカーなどの障害物もゴルフ場と同じように配置されている



桂川町グラウンド・ゴルフ協会の皆さんと。天然芝で整備された4コース32ホール桂川町グラウンド・ゴルフ場は、国内有数のプレー環境を誇る

団体紹介



子育て支援 Wa-Wa

桂川町社会福祉協議会が開催した「託児ボランティア講座」の修了生を中心に、平成16年に発足。17歳から85歳の15人のスタッフで、講座やイベント時の託児を請け負う。また、個人託児登録者を対象に、個別の要望に応じた託児も請け負うなど、地域の育児を支える存在となっている



「想像力と行動力を発揮して、町の活性化にご貢献いただくことは県としてもありがたい。これからの活躍を期待します」と知事



「あおむし畑嘉穂体験農園」園主の岩城聡一さん。保育園や小学校、大学での出張講習などを通じて野菜づくりの楽しさを伝える



「桂川町消防団本部分団女性班」団員で大学生の伊藤史乃さん。桂川町の安全・安心を願い、消防団の訓練や広報活動に取り組んでいる



「子育て支援Wa-Wa」代表の田中千津代さん。「ふくおか子育てマイスター」にも認定されており、個人や育児サークルからのさまざまな相談に対応し、子育てをサポート



「土師獅子舞保存会」頭取の八見邦生さん。鎌倉時代に始まったとされる「土師の獅子舞」の伝承に取り組む。獅子舞は春と秋の大祭で奉納される



「桂川町の明日を創る会」会長の吉貝昌章さん。町の未来を担う若者同士の交流、町の活性化を目的に若者約100人がさまざまな活動を行う

地域で頑張る皆さん

対話

小川知事

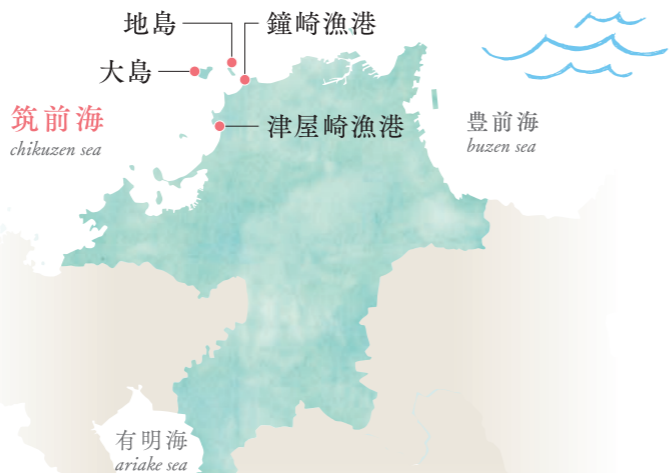
筑前海

巧みの海

筑前海は東西で呼び名が変わります。
東が響灘、西は玄界灘。
この2つの灘の境に位置し
筑前海をとこ狭しと駆け巡る
宗像の漁師たち。
激しい潮流に鍛えられ、
磨かれた漁の技がここに 있습니다。



素潜り漁は船を操る船頭との共同作業。家族や親戚などと組む例が多い



素潜り漁法を伝えた海女発祥の地、鐘崎

「妹の子守は船の上だった」北川千里さんと、「出産の前日も潜っていた」松尾美智代さん。2人とも日本海沿岸の海女発祥の地といわれる宗像市鐘崎で代々続く海女の家系です。

布製のアマ着を身に着け、船に身体を温める火鉢を積み込んで行っていた素潜り漁は、男性より皮下脂肪が厚く、何度も海に潜ることができる女性の仕事でしたが、ウエットスーツが普及した近年は男性の海士が主力となっています。江戸時代には300人ほどいたとされる鐘崎の海女も、今は北川さんと松尾さんの2人だけとなりました。かつて、鐘崎の海女たちは、対馬海流に乗り、遠くは能登半島まで出稼ぎに行き、日本海沿岸の各地に素潜りの技



ウエットスーツ普及前の海女の姿。織幡神社にある「筑前鐘崎海女の像」



まき網漁。灯船で魚を集め、網の底を絞って捕獲する。絞る様が巾着の形に似ているところから、通称「きんちゃく漁」

術を伝えました。やがてその地に定住し、鐘崎の「枝村※」が作られます。今も海女が残る輪島(石川県)や大浦(山口県)などで、鐘崎の海女の技術とたくましさは受け継がれています。

魚群を船団で囲い込む、団結力が要の「まき網漁」

宗像漁業協同組合ではさまざまな漁業が営まれ、県内有数の水揚げを誇ります。中でもまき網は水揚げが最も多い漁法です。このまき網は、魚群を探る探索船、集魚灯で魚を集める灯船、魚群を巻き捕る本船、鮮度を逃さず水揚げする運搬船からなり、乗組員と港で魚を選別する人員を合わせると30人を超える大所帯です。



船頭の宗岡譲さん。現在22歳から70歳まで19人の漁師を率いる。後継ぎ(4代目)の息子、健一さんもそのひとりだ

船団を率いる船頭の宗岡譲さんは言います。「狙ったアジ・サバが大量に網に入っていたとき、その高揚感は何れもない。ただ、大漁を願うのはいつも最後の最後です」。宗岡さんは出港の際、本船操舵室の窓から岬の神社に向かって祈りを捧げます。まずは乗組員の安全、次に漁の無事、そして最後に豊漁。豪放に見えて、重責を担う者としての繊細な気配りがうかがえます。宗像では漁師の顔もまた多彩です。

■写真・古谷千佳子(ふるやちかこ)

東京生まれ海人に惹かれ20年前に沖縄へ移住。潜水漁業など海の仕事についた後、写真家へ。2007年毎日放送『情熱大陸』で海人写真家として紹介される。2010年より全国に点在する海女の撮影を開始。海辺の暮らし、仕事の中に見えるさまざまな原点を撮り続ける。

松尾美智代さん(写真左)と北川千里さん(写真中央)。海が大好きというふたりは海中の美しさに見とれながら自然と素潜り漁を身に付けた

※枝村…元の村から分出し、新しく作られた集落のこと

全国トップクラスの
味と漁獲高だよ!



フグ刺しは歯応えがあり、ほどよい甘さと
繊細なおいしさが楽しめる

の大型はえ
縄船が船団
を組み、漁を
するのが特
徴。「鐘崎天
然とらふぐ」
と名付け、プ
ランド化に

鐘崎漁港は全国有数の天然
トラフグの水揚げ港です。玄界
灘や響灘の荒波にもまれて育つ
たトラフグは、最高級品として
取引されます。鐘崎では約30隻

海の資源を守り ブランド化を図る トラフグはえ縄漁

鐘崎漁港

トラフグ
食用フグのなかで
最も高級とされる
トラフグ。2kg前
後の大きさが食べ
ごろとされる

も取り組
んでいます。

後世の人にお
いしいトラフグを味
わつてもらうため、独自

にさまざまな取り決めを定め、
資源の保護に努めています。



船上での作業の様子。捕れたトラ
フグは、いけすに移し鮮度を保つ

特に冬のアラは
脂がのって旨いよ!

大島

恵み豊かな海に 大物高級魚を狙う アラ(クエ)漁

大島の近海は、筑前海域有数
の好漁場。島では8月から1月
にかけて高級魚・アラ(クエ)の
はえ縄(延縄)漁が行われます。
全長800メートルの幹縄に約
80本の枝縄を結び、その先に大
きな針を付けた「はえ縄」を海
に沈めて海底のアラを狙いま
す。餌はカツオの切り身。「自分
だけの仕掛けの工夫や漁場が
あり、大物が捕れたときは最高
です」と、鐘崎三男さんは漁の醍
醐味を話します。



宗像漁業
協同組合員
鐘崎三男さん
最大47kgのアラを仕留めたことも。
他にヒラマサやサワラなどの漁をする



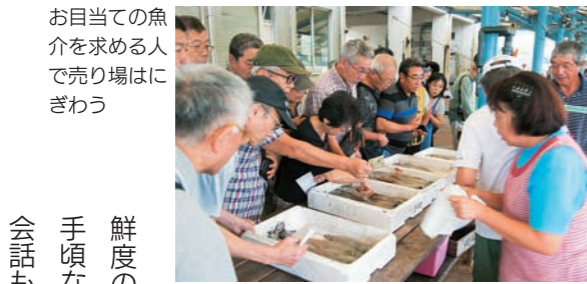
手際よく作業できるように、はえ縄の手入
れと整頓が大切



旬の魚料理を堪能しよう

活きのいい 魚介を 直接消費者へ 津屋崎魚まつり

津屋崎漁港



お目当ての魚
介を求める人
で売り場はに
ぎわう

「津屋崎魚まつり」は、
漁師が水揚げした魚介
類を直接消費者に販売
する朝市です。漁港に横
付けされた漁船からは
生きたトビウオやアナ
ゴ、キス、イカなどが水
揚げされ、港内に設けら
れた売り場に並びます。
鮮度の高さはもちろんのこと、
手頃な値段と漁師さんたちの
会話も大きな魅力です。

鮮度バツグンです

津屋崎魚まつり実行委員長
花田幸夫さん(写真右)、妻・美紀さん
近海と沖ノ島周辺で6~12
月は1本釣のヤリイカ漁、
ほかに底刺網漁などを行う



福岡市津屋崎 津屋崎漁港
(お魚センターうみがめ隣)
毎週日曜日
〈5~9月〉午前6時~ 〈10~4月〉午前7時~
※売り切れ次第終了
宗像漁協 津屋崎支所 ☎0940-52-0053
ファクス0940-52-4127

刺し身、煮付け、味噌汁、ヒジキの
煮物、メカブなどが味わえる人気
の「おまかせ定食」(写真右)と、
「めかぶ丼」(写真左上)

島の天然魚介を 漁師料理でどうぞ 地島御食事処なごみ

地島

地島で唯一の食事
処「なごみ」では、島
の魚介を知り尽く
した地元漁師の奥
さんたちが腕をふる
います。例えば、潮
の流れが速い海で
採れる良質の天然
ワカメは、根元部分
のメカブは細かくして丼に、茎はつ
くだ煮やピクルスに、風味豊かな葉
は味噌汁や酢の物にと、素材の持ち
味を生かした料理を堪能できます。



地島 御食事処なごみ 児島智枝子さん
おいしい食事の提供だけでなく、島の見ど
ころや楽しみ方も教えてくれる

宗像市地島909 11時~15時 ※要予約
☎090-5292-1782 ファクス0940-62-1264

観光スポットご紹介



海の道むなかた館

世界遺産登録を目指す「神宿
る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群
の関係資料、海外交流や海女に関
する貴重な資料の展示に加えて
3D映像や古代体験などで、宗像
の歴史を楽しく学べます。



宗像市深田588
宗像市郷土文化学習交流館
☎0940-62-2600
ファクス0940-62-2601

海洋体験施設 うみんぐ大島

澄みわたった海を利用した海
上釣堀をはじめ、シーカヤック
や海中観察(以上、要予約)など、
大島の海を満喫できる体験がいっ
ぱいの施設です。



宗像市大島1822-4
株式会社むなかた大島
☎0940-72-2361
ファクス0940-72-2370

近隣の主な直売所

道の駅むなかた



魚介類のコーナーは売り切れ必至の人気
宗像市江口1172
☎0940-62-2715
ファクス0940-62-3874

お魚センターうみがめ



2階には海鮮レストランも併設
福岡市津屋崎4-47-18
☎0940-52-1939
ファクス0940-52-0307

宗像漁業協同組合 鐘の岬活魚センター



1匹から購入可。希望によりさばいてもらえる
宗像市鐘崎778-6
☎0940-62-1570
ファクス0940-62-1662



築上町

ちくじょうまち

いにしえの巨木と、
美しい風景に出会えるまち

本庄の大楠 (国指定天然記念物)

樹齢1900年(推定)の長寿を誇る、全国4位の巨木。樹高25.8m、幹周囲20.6mで、明治時代の火事により大半が焼失するも奇跡的に現在の姿にまで成長。秋にはライトアップされた大楠の下でクラシックコンサートが開かれるなど、築上町のシンボリック的存在



■ 城井ノ上城址
戦国時代末期の宇都宮氏の山城跡。近くの岩場に息づく「他城のイロハモミジ」の紅葉は見事。11月に「もみじウォーキング」「もみじ祭り」も開催される



■ 船迫築跡公園
奈良時代、豊前国分寺の屋根瓦を製作した工房建物(復元)のほか、須恵器や瓦を焼いた窯跡が残る。散策や陶芸体験もできる。国指定史跡



■ 築城基地航空祭
大迫力の航空ショーに加え、さまざまなステージイベントも行われる航空祭。毎年秋に開催され、全国から多くの来場者が訪れる



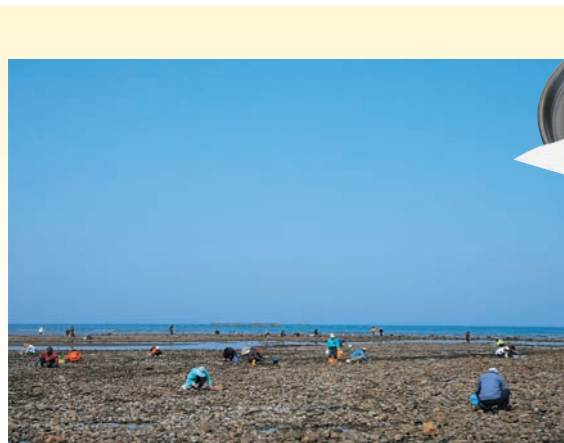
■ 網敷天満宮
菅原道真公が左遷され大宰府に向かう途中、船が難破して高塚の浜に漂着し、地元の人たちが船の綱を円座に敷いて迎えたという故事にちなんで創建された



■ 白い彼岸花(不老山正光寺)
彼岸花といえば赤色が定番だが、9月下旬、伝法寺の不老山正光寺では約1万本もの白い彼岸花の群生が一斉に開花。「白い彼岸花祭り」が開催される



■ 築上町農業公園(しいだアグリパーク)
コンビネーション遊具を備えた芝生公園やスケートボードリンク、フットサルコートなど、体を動かして楽しめる憩いスポット。貸し農園も利用できる



■ 潮干狩り
周防灘に面した浜の宮海岸は、遠浅の潮干狩りスポットとして有名。毎春3月から、あさり貝の潮干狩りが解禁となり、たくさんの観光客でにぎわいを見せる



■ 神楽・楽打
歴史ある7つの神楽、3つの楽打が守り継がれ、国・県・町の無形民俗文化財に指定されている。各地域で奉納される伝統芸能が一堂に集う「神楽・民俗芸能祭」を隔年で開催



■ 旧蔵内邸
明治時代から3代にわたって栄えた炭鉱主の住宅と庭園で、国の名勝に指定されている。一般公開もされており、各所に繊細な細工が施された邸宅と、多彩な視点場を持つ大きな池庭は必見



■ 築上町物産館「メタセの杜」
秋は紅葉が美しいメタセコイアの木々に囲まれた憩いの広場。地元の農水産品や加工品などを販売する物産館は、町内外の多くの人に親しまれている



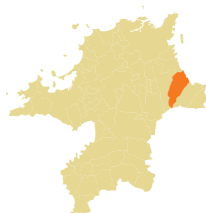
■ 豊前海一粒かき
豊前海で育ったミネラル豊富なカキは、プリッと詰まった身がおいしいと評判



■ 隊員食堂カレー
航空自衛隊築城基地で好評だった食堂のカレーをレトルトに。基地売店と築上町物産館「メタセの杜」で販売されている



■ 問い合わせ
築上町役場
築上郡築上町椎田891-2
☎0930-56-0300(代表)
ファクス0930-56-1405
<http://www.town.chikujō.fukuoka.jp/>



循環授業の稲作体験



資源循環型のまちづくり
築上町では、持続可能な資源循環型のまちづくりを目指し、し尿や汚泥の液肥化に取り組んでいきます。農地に還元された液肥は、安全でおいしい農産物を生み出し、農業生産のコスト削減にも貢献。また、町内の全小中学校で、液肥を利用した米や野菜を使った自校式の完全米飯給食を実施し、子どもたちの健康で心豊かな成長をサポートしています。



「築上(きずきのぼる)」
築上町生まれの自然を愛する少年。喜怒哀楽の表情を「築上」で表現

福岡県の東部に位置する築上町は、平成18年1月に、椎田町と築城町が合併して誕生しました。大分県に接する南部の山林を源にした河川が北部の平野を潤し、周防灘へと注ぐこの地域一帯は、いにしえから「豊の国」といわれ、海の幸、山の恵みなどが豊富です。
受け継がれてきた歴史や文化を次世代に残しつつ、町に新たな魅力を生み出そうと試行錯誤する人の営みに、今日も「本庄の大桶」が寄り添い、優しく見守ります。

自然と町と人が
奏でるハーモニー



浜宮大橋などに毎冬設置するイルミネーションは好評



主催する「わいわいビアガーデン」は、約500人の来場者でにぎわう夏の風物詩



部長の原田秀行さん(前列右)、友住優介さん(前列中央)、商工会担当職員の野田太一郎さん(前列左)ら、青年部の皆さん

築上町商工会青年部

地域愛とネットワークで熱いまちづくり

地域経済団体の青年部門として平成24年4月に設立された「築上町商工会青年部」。45歳までの経営者や後継者を中心に、男女33人のメンバーが、町内で行われるイベントなどで大活躍しています。

「青年部の目的は、経営能力や人間力を身に付け、地域で活躍する担い手を育むこと。例えば、ビアガーデンやイルミネーションの設置といった自主イベントの企画、青年経営者主張発表大会への参加など、アイデアを出し合っているいろいろなことにチャレンジできるのが醍醐味です」と熱く語るのは、部長の原田秀行さん。「そこには必ず学びがある。人脈も広がるし、自分の仕事にも生かせる」とメンバーの声にも力がこもります。消防団をはじめ、地域のサポートも積極的に取り組んでいます。



地元のタクシー会社が掲示を協力するステッカーや東九州道沿線のFM局6社で作ったパンフレットでPR



新たに始まった神楽講の番組に出演する皆さん



代表の福田みどりさん(写真右)とパーソナリティの石川美和さん

スターコーンFM

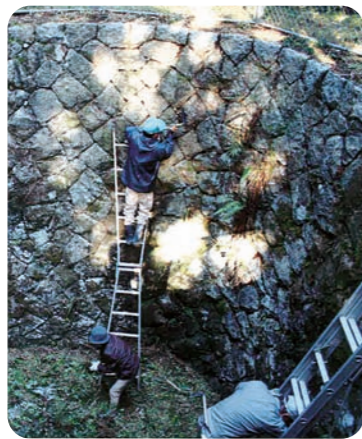
地元密着の番組で地域を元気にするコミュニティFM

京築地域唯一のFM局として、平成12年に開局した地域密着型のラジオ局。代表の福田みどりさんと2人のラジオパーソナリティを中心に、少人数で運営しています。地域の暮らしに欠かせない生活・防災情報や子育て情報をはじめ、地元の演歌歌手がパーソナリティを務める番組のほか、元高校教諭による日本文化、古典を学ぶ番組など幅広い内容で展開。リスナーも1カ月に約120人が登場します。

今年8月からは、新たに神楽講に特化した番組がスタートし、京築神楽の魅力を発信しています。「多くの皆さんの力で成り立つ放送局ですから、商店街などの地元の方に出演していただいてもっとも活用してもらいたいです」と福田さん。感謝の気持ちで電波に乗せて、元気に地域を盛り上げていきます。



今年7月に催された筑前琵琶演奏会「城井落城物語」の様子



文化財保護のボランティア活動の一環で行った「本庄の雪穴」の清掃



現在の会員数は67人。会長の白川正さん(写真前列左から3番目)と会員の新川久三町長(写真前列左から2番目)ほか役員の皆さん

築上町郷土誌会

故郷の歴史を若い世代へ語り継ぎたい

旧町でそれぞれ活動していた椎田町文化財研究協議会と築城町ふるさと文化研究会が合併し、平成25年に発足した「築上町郷土誌会」。現地研修や会誌発行などに加え、今年新たに筑前琵琶演奏会「城井落城物語」を開催しました。

「官兵衛ブームが下火になりつつある今、かつて400年この地を治めた宇都宮氏の歴史を伝える企画をしよう」ということになりました。宇都宮氏への興味・関心が、皆さんの心の中ずっと続いてほしいというのが郷土誌会の思いです」と話す、会長の白川正さん。当日は町内外から約300人が来場し大成功を収めました。また、「京築めぐり」のボランティアガイドなど観光振興にも取り組む皆さん。「子どもたちに故郷の歴史を誇りに思ってもらいたい」と、若い世代へ語り継ぐことにも意欲を燃やしています。



地元の子どもたちが参加したそば打ち教室の様子



平成21年11月に復活した流鏝馬祭りは来年で5回目を迎える



写真右から事務局長の白川義雄さん、会長の山内守さん、船木陽子さん

上城井ふれあい協議会

特産品の開発や流鏝馬の復活などで地域に活力を

「恵まれた自然環境や歴史文化を活用して、持続可能で活力のある故郷を実現したい」という目的で、平成20年に発足した「上城井ふれあい協議会」。自治会やボランティア団体など、65人のメンバーがいます。

「活動するにあたっては、地域に何が必要か住民500世帯にアンケート調査を実施しました。その意見を反映して、上城井米の栽培とブランド化、神楽や流鏝馬といった伝統行事の伝承と復活などさまざまな取り組みを行ってきました」と話す、事務局長の白川義雄さん。2年前からは地域おこし協力隊の船木陽子さんが活動を始め、そば打ち教室の開催や青年部とキクイモの栽培などを行っています。来年3月には明治時代の建物を利用して、古民家レストランをオープン予定。多世代がつながって活動の輪を広げていきます。

大自然の中で、人間力を学べ！

星と夢キャンプ
〜星の村チャレンジキャンプ&ラフティング〜

「ふくおか未来人財育成ビジョン」を掲げ、青少年の人財育成に取り組む福岡県。今回は、「ちくご子どもキャンパス」の一環で、子どもたちが社会にはばたくための力を育む「星と夢キャンプ」の取り組みについて紹介します。

※自然豊かな筑後全体を子どもと大学の大学(学びの場)に見立てた事業。
自然学習や農業体験など、多彩なプログラムが用意されている筑後田園都市推進協議会主催

体験を通じて感じる力を合わせる大切さ

八女市星野村を拠点に行われる9泊10日の「星と夢キャンプ」。「さあ、行くよ」「1班集まれ」「2班は、「うち」」。まだキャンプ2日目ですが、登山口でも、沢登りの起点でも、指導者の声に子どもたちは班でしっかりとまとまって動きます。

今年の参加者は、小学5年生から中学生までの5班27名。福岡、北九州都市圏の子どもも多く、ほぼ全員が初対面です。「みんなで協力しよう」と言っ

身に付けてほしいのは「思いやり」

「2泊程度のキャンプは楽しいだけで終わりますが、9泊10日となると、途中でうまくいかずに仲間とぶつかり、精神的にくじけそうになる場面が必ずある。そこを乗り越えられると、本当

も伝わるには限らない。みんなで力を合わせないと山頂に行けない、ゴールに着けないことを体感して初めて、「これが協力ということなのか」と分かるんです」と、キャンプ主催者の石川信男いしかののぶさんは笑顔で話します。



みんなの表情にも達成感が溢れる石割岳(941.5m)登山の山頂記念撮影

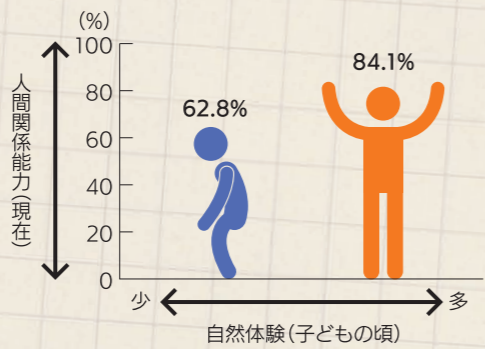
の仲間になれます」。ラフティング体験をはじめ、本格的なチャレンジが並ぶ「星と夢キャンプ」ですが、体力以上に精神力や社会性を身に付けることを大切にしています。また、陶芸・皮細工体験、天体観測などもあり、それぞれの子どもが得意なことを見つけて自信が持てる工夫も盛り込まれています。



「かつての参加者が、スタッフとして戻ってきてくれるのもうれしい」と石川信男さん(自然体験クラブ Hoshino Nature's Way)

「キャンプを通じて、子どもたちにも一番学んでほしいのは『思いやり』の心。自分だけが楽しくてもダメ。つまらなそうにしてる人がいたら、そんな時どうすればいいか。さらには、全員が楽しくなるにはとも考えてほしい」と話す石川さん。最終日の前夜、手作りのキャンドルの灯に照らされた子どもたちはひと回り成長し、どの顔も自信に満ち溢れています。

●「自然体験」と「人間関係能力」の関係(成人調査)



子どもの頃の自然体験が豊富なほど、大人になってから、あいさつや初対面の人とすぐ話ができるなど「人間関係能力」が高いという研究結果も
※数値は「あてはまる」と回答した数の合算

出典:国立青少年教育振興機構「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」報告書(平成22年10月),p97



「きゃー、冷たい」歓声で始まった星野川の沢登り。速く厳しい流れに足を取られないように年長者がフォローしながら前進



笑顔こぼれるラフティング体験。慣れないオールにあたふた

先輩が教える未来づくり

このコーナーでは、国際的な視野を持って、地域で活躍する福岡県出身の先輩から、子どもたちに向けてのエールを掲載します。



今回の先輩
KOO-KI
江口カン監督

国内外の賞に輝く数多くの映像作品や、東京五輪招致国際PR映像を手がけた江口カン監督。「いたずらばかりして、5分に1回は先生に注意されるような子だった。オモシロイことをいつも探していた僕は、オモシロイ映像をつくるという好きなことを仕事にした。好きなことなら、一生懸命やってもイヤにならないと思ったから。それでも苦しい時はある。それは、どんなに一生懸命やっても、自分よりもすごい人がいると気付いた時。でも好きだから、少しでも一番に近づきたくて頑張る。そうしていると、一生キラキラと輝いていられるんだ」。

ふくおか未来人財育成ビジョン

福岡県が策定したこのビジョンは、「学力、体力、豊かな心」、「社会にはばたく力」、「郷土と日本、そして世界を知る力」を育むための青少年育成策の方向を示しています。「社会にはばたく力」を身に付けるためには、困難な課題に対し、自分の知識や経験を生かしながら、深く考え抜くことが重要です。異なる価値観や個性を持つ人たちとの相互理解を深め、共感しながら、課題解決へと導く力を身に付けることが必要になります。



子どもたちの声
MY VOICE

(写真右から)3回目の参加となる太田帆香さん、友だちと初参加した安井優君

ちくご子どもキャンパス 検索

女性農業者の思いと 企業のノウハウで 新しいモノづくりを。

福岡県は、県内企業との連携によって女性農業者がよりいっそう働きやすい環境を整えるプロジェクト「アグレディ」をスタートさせました。企業のノウハウと女性農業者のアイデアをマッチングして、それぞれの商品開発プロジェクトを発足。ニーズに応える新商品の検討・開発を行い、農業を支える女性農業者の活躍を後押しします。

女性を応援して
日本の農業を
支えたい！



企業

松永勝政さん

植物の機能性成分を活用した化粧品や食品の製造・販売メーカー「オフィスK」代表取締役。

たくさんの人に
使ってほしい！

女性
農業者

田中暁子さん



結婚後に勤務先を退社し、夫婦で就農。オフィスKとのプロジェクトで従来のハンドクリームに足りない「守る機能」を発案。

オフィスK × アグレディ

農業女子のためのハンドクリーム

「農作業に手荒れや日焼けはつきもの。そんな、当たり前をどうにかしたい。」

農業に携わる女性たちにとっての悩みの一つが、一般的なハンドクリームでは解決できない「手荒れ」とはいえ、手荒れを防ぐために手袋を着けるとやりづらい作業も多く、夏場は蒸れて暑い。そんな時、田中暁子さんから女性農業者がアグレディへの参画を通して出会ったのが松永勝政さんでした。「香りやベタつきがなく、農作物に安心・安全なハンドクリームが欲しい」、「紫外線も防ぎたい」、「毎日使うもの。ノストは抑えてほしい」...

「こればうれしい」と松永さん。

このハンドクリームをはじめ、アグレディの取り組みで女性農業者の労働環境を改善する商品が次々と開発され、女性農業者が増加し、日本の農業を支え、変えていくことが期待されます。



SPF30・PA+++という女性にうれしいUV機能付き。女性農業者の手に耳を傾け、女性が就農しやすい環境を目指す

株式会社オフィスK
福岡市西区今宿東1-19-17
☎092-806-4911 ファクス092-806-4982
http://www.bitekiseikatsu.com/

まろは油脂化学 × アグレディ

肌や環境に優しい液体洗濯石けん

「清潔に、気持ちよく農業がしたい」。そんな声に応えます。

「汚れているのが当たり前の作業着をきれいに」だけ強い洗剤は少し不安...というプロジェクトメンバーの意見を元に、使いやすく、肌や環境に優しい「洗濯石けん」が完成しました。灰汁などの落ちにくい汚れや、襟袖汚れなどにピンポイントで使用できる「ハーブの香り」液体石けん「襟袖洗い用」は、汚れた箇所に直接塗り込むタイプ。面倒な部分洗いの手間が軽減できます。



スティックタイプの石けんはハーブの爽やかな香りもポイント。農作業で付いた気になる汚れが簡単に落とせます

まろは油脂化学株式会社
福岡市高野2-8-53
☎0942-32-9529 ファクス0942-39-4146
http://www.nanairo.co.jp/

坂田織物 × アグレディ

動きやすい久留米紘の農作業着

久留米紘で農作業を楽しく、美しく、ラクちんに。

実は昔から農作業と縁がある久留米紘。軽くて丈夫な素材である上に、美しい柄模様は、「お出かけも、農作業もできる洋服がほしい」といった女性農業者のニーズにピッタリでした。坂田織物とプロジェクトメンバーが意見交換を重ね、試作を繰り返した末に、ゴム仕様で着脱しやすく軽い「サロペット」や、ポケット収納を充実させ、機能性を重視した「エプロンバッグ」を開発しました。



久留米紘ならではの柄や風合いなど反響も上々



有限会社坂田織物
福岡市八女郡広川町長延602
☎0943-32-1402 ファクス0943-32-4900
http://www.sakataorimono.com/

現在進行中！「アグレディ」とコラボする期待の3プロジェクト

株式会社中セキ九州 福岡 (筑前町)



女性にやさしい農業機械

「女性農業者が使いやすい農業機械」がコンセプト。既存の機械に改良アイデアを盛り込みながら開発中です。

株式会社筑水キャニコム (うきは市)



女性が扱いやすい草刈機

操作性やメンテナンスのしやすさなど、女性農業者のニーズを反映させた草刈機の開発を目指しています。

久留米手袋工業株式会社 (久留米市)



女性向け農作業用品シリーズ

機能性はもちろんデザイン性も重視。女性が身につけて楽しくなるような農作業アイテムを開発中です。

Facebook ページへ！

福岡の女性農業者を応援する「ふくおか農業女性起業ネットワーク」とは...

Facebookを利用し、福岡県内で農産物の加工・販売などに取り組みたいと思っている女性農業者や、すでに取り組んでいる方のネットワーク作り&ステップアップを後押し。起業や6次産業化、農業イベントなど誰でも自由に閲覧できる「事務局からの情報発信」のページもあります。



県政フラッシュ



九州・山口で働こう

東京圏の若者に、九州・山口で就業してもらおうと、九州・山口各県および経済界が一体となって、7月8日・9日の両日、東京都内で「九州・山口UIターン就職応援フェア」を開催しました。合同会社面談会のほか、就職、移住、就農などの総合相談会も同時開催し、九州へのUIターンを呼びかけました。また、8月から9月には東京圏の学生を対象に九州・山口の企業でのインターンシップも行われました。



「有機農業支援マルシェ」で熊本を応援!

7月10日、九州・山口各県の有機栽培農家が天神中央公園に集い、「熊本地震 有機農業支援マルシェ」を開催しました。各県のブースには、化学肥料や農薬に頼らずに作った農家自慢の農産物や加工品が並び、来場者は、おいしそうな農産物を手に生産者と笑顔で会話を交わしていました。当日の売り上げの一部は、熊本地震で被災した有機栽培農家の皆さんに寄付されました。



同和問題からつながる人権の輪

福岡県では、毎年7月を「同和問題啓発強調月間」と定め、各種啓発行事に取り組んでいます。7月23日、春日市のクローバープラザで開催された講演会では、子どもたちによる和太鼓の演奏に続き、福永宅司さんの一人芝居「ひかり・HIKARI'16」を上演。さまざまな人と出会いながら部落差別の現実と向き合う青年を通して、同和問題を自らの課題として考えることの大切さを訴えました。



全国知事会議in福岡

7月28日・29日の両日、平成28年全国知事会議が福岡市で開催されました。今年の4月に東九州自動車道北九州・宮崎間が全線開通したことを機に、本県で初めて開催されました。会議では、「格差から活躍へ」をテーマに、熊本地震などの被災地の復旧・復興支援および防災・減災対策、地方税財源の確保・充実、地方創生の推進などについて活発な議論が交わされました。

情報広場

観覧料の割引など詳細については、各施設にお問い合わせください。

九州歴史資料館

特別展「八女の名宝」

古代の九州を代表する豪族・筑紫君磐井の墓とされる岩戸山古墳からの出土品や、県内きつての古仏群を擁する谷川寺の仏像、南北朝時代の九州を知る上で欠かすことのできない門外不出とされてきた五條家文書、多彩な伝統工芸品など、筑後・八女地域のさまざまな歴史と文化を知ることができる展覧会です。



仁王像 阿形 谷川寺蔵

- 会期** 9月22日(木・祝)～11月13日(日)
- 観覧時間** 9時30分～16時30分(入場は16時まで)
- 休館日** 月曜日 ※ただし10月10日(月・祝)は開館、10月11日(火)は休館
- 観覧料** 一般 200円(150円)、高大生 150円(100円)
※小中生・65歳以上は無料、()内は20人以上の団体料金
- 交通アクセス** ◎西鉄天神大牟田線 三国が丘駅下車 徒歩約10分
◎九州自動車道筑紫野ICまたは大分自動車道筑後小郡ICから車で約15分

期間中のイベント

特別展開催記念講演会「対外関係からみた磐井の乱」 ※参加無料、要申込 | 日時:10月23日(日)
場所:九州歴史資料館

問い合わせ | 九州歴史資料館 小郡市三沢5208-3 ☎0942-75-9575 ファクス0942-75-7834 <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>

九州国立博物館

特別展「京都 高山寺と明恵上人 - 特別公開 鳥獣戯画 -」

近年修復を終えたばかりの国宝「鳥獣人物戯画」全四巻をはじめとする高山寺の名宝を一堂にご紹介するほか、同時代を生きた人々との親交を語る品々から稀代の聖侶・明恵上人の実像に迫ります。



国宝 鳥獣人物戯画 甲巻(部分)
平安時代 京都 高山寺蔵

- 会期** 10月4日(火)～11月20日(日)
- 観覧時間** 9時30分～17時(入場は16時30分まで)
- 休館日** 10月17日(月)、10月31日(月)、11月14日(月)
- 観覧料** 一般 1,600円(1,400円)、高大生 1,000円(800円)
小中生 600円(400円)
※()内は前売り、20人以上の団体料金
- 交通アクセス** ◎西鉄太宰府線 太宰府駅下車 徒歩約10分
◎九州自動車道 太宰府ICまたは筑紫野ICから車で約20分

問い合わせ | 九州国立博物館 太宰府市石坂4-7-2 ☎ハローダイヤル 050-5542-8600 ファクス092-929-3276 <http://www.kyuhaku.jp/>

福岡県立美術館

ビートルクス・ポター™生誕150周年 ピーターラビット™展

英国ナショナル・トラスト所蔵の絵本原画やスケッチ、思い出の品々から、「ピーターラビット」の原点や絵本シリーズの世界を展覧するとともに、一人の女性として時代を切り開いた作者ビアトリクス・ポターの人生の軌跡をたどります。



©Frederick Warne & Co., 2016

『ベンジャミン バニーのおはなし』の挿絵のための水彩画

ビアトリクス・ポター
英国ナショナル・トラスト所蔵

- 会期** 10月28日(金)～12月11日(日)
- 観覧時間** 10時～18時(入場は17時30分まで)
- 休館日** 月曜日
- 観覧料** 一般 1,300円(1,100円)、高大生 1,000円(800円)
小中生 600円(400円)
※()内は前売り、20人以上の団体料金
- 交通アクセス** ◎西鉄バス「市民会館前」下車 徒歩約2分、
「天神北」下車 徒歩約5分
◎福岡市地下鉄空港線 天神駅下車 徒歩約10分
◎西鉄天神大牟田線 福岡(天神)駅下車 徒歩約15分

期間中のイベント

アクロス・ミュージアムコンサート in 県美 | 日時:11月5日(土)
※参加無料、申込不要 | 場所:美術館2階

問い合わせ | 福岡県立美術館 福岡市中央区天神5-2-1(須崎公園内) ☎092-715-3551 ファクス092-715-3552 <http://fukuoka-kenbi.jp/>

福岡県広報の
ごあんない

- テレビ番組
 - TVQ「ハロー!ふくおか県」 毎週土曜日放送 20時54分～21時
 - RKB「福岡県庁知らせた課」 毎週日曜日放送 16時54分～17時
- ラジオ番組
 - FM福岡「福岡県だより」 毎週月・木曜日 9時35分～9時40分
- 新聞
 - 「福岡県からのお知らせ」 偶数月の第3日曜日の新聞にお知らせ掲載
- 世帯向け広報紙
 - 「福岡県だより」 奇数月に発行

- インターネット
 - 福岡県ホームページ <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>
 - ふくおかインターネットテレビ <http://webtv.pref.fukuoka.lg.jp/>
 - Twitter アカウント
 - 名 前…福岡県庁
 - ユーザー名…@Pref_Fukuoka
 - https://twitter.com/Pref_Fukuoka

パナー広告募集中

詳しくは
福岡県 パナー 検索

代表者会議と議会運営委員会

代表者会議

代表者会議は、議長・副議長および議会内で5人以上の所属議員を有する会派の代表者により構成され、議会の行事に関する事、議員定数に関する事、改選に伴う初議会の運営に関する事、その他議会運営上必要と認める事項などについて協議し、会派間の意見を調整するために設置されています。



- 写真向かって右から
- 林 裕一 (緑友会/代表者)
 - 小池 邦弘 (民進党・県政県議団/議会運営委員会副委員長)
 - 吉村 敏男 (民進党・県政県議団/代表者)
 - 佐々木 徹 (民進党・県政県議団/副議長)
 - 中尾 正幸 (自民党県議団/議長)
 - 原口 剣生 (自民党県議団/代表者)
 - 樋口 明 (自民党県議団/議会運営委員会委員長)
 - 森下 博司 (公明党/代表者)

議会運営委員会

議会運営委員会は、会期、議事日程、会期の延長・休会、特別委員会の設置・改廃、議会関係の条例や規則の制定・改廃など、議決を必要とする案件の取り扱いを協議し、また、議長の諮問に答えるなど、議会の円滑な運営を図るために設置されています。



- 写真向かって右から
- 神崎 聡 (緑友会)
 - 松下 正治 (公明党)
 - 大塚 勝利 (公明党)
 - 田辺 一城 (民進党・県政県議団)
 - 仁戸田元氣 (民進党・県政県議団)
 - 井上 博隆 (民進党・県政県議団)
 - 小池 邦弘 (民進党・県政県議団)
 - ◎樋口 明 (自民党県議団)
 - 松本 國寛 (自民党県議団)
 - 吉松 源昭 (自民党県議団)
 - 十中 大雅 (自民党県議団)
 - 阿部 弘樹 (自民党県議団)
 - 野原 隆士 (自民党県議団)
 - 松尾 嘉三 (自民党県議団)
 - 渡辺 勝将 (自民党県議団)

常任委員会

常任委員会は、その所管に属する県の事務に関する調査および議案、請願等を審査するために設置されています。本県議会においては、総務企画地域振興、厚生労働環境、県民生活商工、農林水産、県土整備、建築都市、文教、警察の8つの常任委員会が設置されています。今回は次の2つの委員会を紹介します。

県土整備委員会

【委員会の開催状況】

8月2日に開催した委員会では、「平成28年梅雨前線豪雨による被害状況について」や「県営ダムの工事進捗状況について」を議題として質疑を行いました。

8月2日から3日にかけて、久留米

建築都市委員会

【委員会の開催状況】

7月12日に開催した委員会では、「新福岡県住生活基本計画(素案)について」を議題として質疑を行いました。

7月12日に、久留米シティプラザ(久留米市)、クラシオン小笹山手(福岡市)を視察しました。またそのほか、所管に係る視察・調査を随時行っています。



塔ノ瀬十文字小郡線防災震災対策事業(朝倉市)を視察



筑後広域公園内にある「九州芸文館」(筑後市)を視察

問い合わせ

福岡県議会事務局 調査課 ☎092-643-3832 ファクス092-643-3825

※福岡県議会ホームページでは、本会議情報、委員会情報、議員紹介等の掲載のほか、会議録の検索と閲覧、議会中継を実施しています。

福岡県議会ホームページ
携帯電話向けサイト

<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/>
<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/m/>

PC版



携帯電話版



県議会の動き

県議会の最近の取り組みについて、その一部を紹介します。

インドネシア福岡県訪問団

7月15日から20日までの6日間の日程で中尾正幸議長は各会派代表者とともに、インドネシア福岡県訪問団に参加し、小川洋知事とインドネシア共和国を訪問しました。

16日と17日には首都ジャカルタの西部バナンテン州タンゲラン県の商業施設で「福岡フェア」を開催し、福岡の観光や食、福岡発信のポップカルチャーなど本県の魅力をPRしました。



「福岡フェア」オープニングセレモニーの様子

会場では、四季

折々の美しい観光地の紹介や福岡を拠点とするアイドルグループ「LineQ」のライブを行うとともに、うどん・水炊き・がめ煮など本県の郷土料理や八女茶を多くの来場者に味わっていただきました。



インドネシアオリンピック委員会の皆さんとの懇談の様子

中尾議長は、オープニングセレモニーで、「福岡県は、インドネシアと同様、美しい海と澄んだ空、緑の山々に囲まれた自然豊かなところです。一方、古くからアジアとの交流の窓口として長い歴史を刻んできたところでもあります。今回のフェアを通じて、多くの皆さまに本県の魅力を知っていただきたいと思います」とあいさつしました。

18日は、観光誘客促進に向けたインドネシア旅行業界幹部との意見交換や、インドネシアオリンピック委員会およびインドネシア青年スポーツ省を訪問し、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたキャンプ地誘致活動を行いました。

そのほか、インドネシア福岡県人会との意見交換会、オイスカ・スカプミ研修センターでの交流や自動車関連施設の視察を行うなど、インドネシアとの友好交流の促進に向けた有意義な訪問となりました。

ジョージ・アリヨシ元ハワイ州知事の表敬訪問

7月22日、福岡県とハワイ州の友好提携35周年を記念した「HAWAIIAN FESTIVAL IN FUKUOKA 2016」が開催され、出席のため来福されているジョージ・アリヨシ元ハワイ州知事が県議会を訪問されました。

県議会では、正副議長をはじめ、歴代議長経験者や福岡県日米友好議員連盟の役員が訪問を歓迎し、中尾議長は、「アリヨシ様の故郷である福岡の地を、一層、魅力あふれるものにしていきたい」とあいさつしました。アリヨシ元ハワイ州知事は「これからはハワイ州と福岡県が一緒にいろいろな事業を試みることもとても大事だと考えています」とあいさつされました。



全国都道府県議会議長会定例総会ならびに政府・与党への要請活動

7月27日、第154回全国都道府県議会議長会定例総会が東京都で開催され、本県議会から中尾議長が出席しました。

総会では、各委員会で審査された議案について審議を行い、原案のとおり可決されました。

また、中尾議長は地方自治委員会の委員長ならびに国土交通委員会の委員に選任され、翌28日には、地方自治委員会の委員長として、新潟県、京都府の県議会議長とともに、佐藤文俊総務省事務次官や新藤義孝衆議院議員、島田三郎自由民主党総務部会副部会長に対し、総会で決定された「平成29年度政府予算編成並びに施策に関する提言を提出し、意見交換を行いました。



佐藤文俊総務省事務次官との意見交換

全国都道府県議会議長会農林水産環境委員会

7月20日、全国都道府県議会議長会農林水産環境委員会が東京都で開催され、本県議会から佐々木徹副議長が出席しました。

委員会では、最初に、農林水産省の山口英彰大臣官房総括審議官から「総合的なPPP関連政策大綱に基づく国内農林水産業対策について」と題した所管行政に関する説明がありました。次に、定例総会へ提出する本委員会関係議案について審査が行われ、「食料・農業・農村政策の推進について」や「食の安全・安心を確保する制度の拡充強化について」など5件の議案がいずれも原案のとおり可決されました。



国の施策・制度・予算に対する関係省庁への提言・要望

8月4日、中尾議長は小川知事とともに、本県の県政推進のため、関係省庁に対して提言・要望活動を行いました。

【提言・要望の主な内容】

- 平成28年熊本地震を踏まえた災害対策
- 九州観光復興の取組みに対する支援強化
- 女性の活躍を推進する取組みの充実・強化
- 地域の観光資源を活かしたインバウンドの促進
- 地域に根ざした中小企業・小規模事業者対策の充実・強化

○福岡空港及び北九州空港の機能強化
○暴力団壊滅のための抜本的対策の推進 など



麻生太郎財務大臣への要望活動

福岡県ねんりん スポーツ・文化祭

高齢者の皆さんの生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりを支援し、「はつらつとした高齢社会」を築くことを目的としたスポーツと文化の祭典です。県内各地域でさまざまなイベントを開催します。

メインイベント

11月12日(土)

入場無料

会場 | **サンライズ杷木** 朝倉市杷木久喜宮 1685

10時30分～12時 合唱フェスティバル

13時～15時30分 式典、記念講演

10時～16時

- 各種体験コーナー(地域文化伝承、絵手紙、スポーツ・レクリエーションなど)
- 展示(おじいちゃん・おばあちゃんの絵コンクール、短歌、俳句)



ねんりん
スポーツ・文化祭
マスコットキャラクター「くるりん」
くるりんのデザインは、アジアの玄関口にある「ふくおか」の元気、活力、パワーを表しています。(赤:「元気」、黄:「参加・交流」、緑:「アジア」、青:「もてなし」)

スポーツ・文化交流大会

県内在住の高齢者を対象に、下記の日程で交流大会を開催します。参加したり観戦したりして、楽しみませんか。

種目	日程	開催市町
テニス	9月22日(木・祝)	福岡市
ゲートボール	10月12日(水)	福岡市
剣道	10月23日(日)	大木町
グラウンド・ゴルフ	10月31日(月)	久留米市
還暦軟式野球	11月5日(土)・6日(日)	大牟田市
ペタンク	11月6日(日)	柳川市
ゴルフ	11月7日(月)	北九州市、福岡市、筑前町、飯塚市
ウォーキング	11月12日(土)	朝倉市
ソフトボール	11月13日(日)	大川市
弓道	11月13日(日)	八女市
ボウリング	11月13日(日)	大牟田市
アーチェリー	11月13日(日)	春日市
卓球	11月16日(水)	福岡市
ウォークラリー	11月20日(日)	筑後市
ソフトバレーボール	11月23日(水・祝)	久留米市
ソフトテニス	12月4日(日)	福岡市
太極拳	平成29年2月12日(日)	岡垣町
シニア美術展	10月12日(水)～23日(日)	福岡市
短歌	10月22日(土)	福岡市
将棋	10月30日(日)	春日市
俳句	11月22日(火)	北九州市

※ソフトバレーボールおよび卓球大会は地区大会(予選)が行われます。



グラフ
ふくおか

No. 584 GRAPH FUKUOKA

2016
AUTUMN
秋

通巻584号 平成28年9月20日発行(季刊)
発行 / 福岡県 県民情報広報課

〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号 ☎092(643)3102(直通) ファクス092(632)5331

福岡県広報部長 エコトシ



この広報誌は再生紙を使用。印刷用の紙へリサイクル可。

製作 / 株式会社 利助オフイス

問い合わせ

- 福岡県 スポーツ振興課 ☎092-643-3407
- ホームページ <http://www.fsw.or.jp/jigyo/tyoujyusyakai/04kouryuutakaiH28.html>
- 福岡県ねんりんスポーツ・文化祭実行委員会事務局 福岡県社会福祉協議会 ☎092-584-3377